



東京スター銀行

法人向けコモディティデリバティブ業務を開始

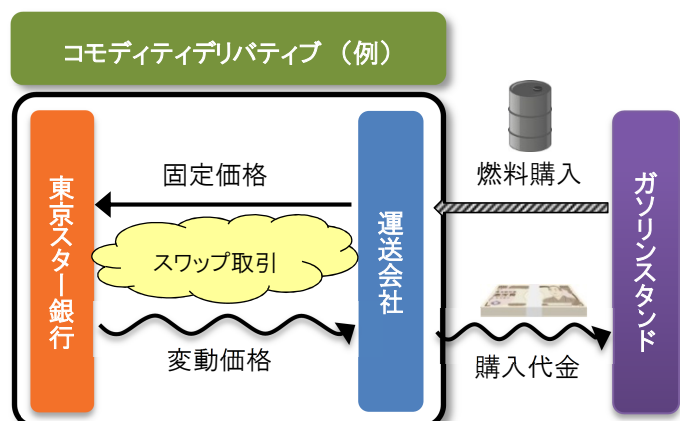
当行の強みである法人向けデリバティブ取引の品揃えにコモディティデリバティブを追加、
コモディティ価格の変動リスク回避のためのヘッジソリューション提供を開始

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO 佐藤 誠治)は、このたび、原油や銅、アルミニウムなどの商品価格のヘッジを目的とした法人向けコモディティデリバティブ業務を開始いたしました。本業務の開始により、当行は、コモディティ価格の変動リスクを回避したい全国の事業法人のお客さまに対して、お客さまそれぞれのニーズに適したヘッジソリューション(コモディティデリバティブ)をオーダーメイドでご提供してまいります。

当行のデリバティブ商品開発・販売部門は、地域金融機関では機能、規模の双方でトップクラスの体制を有しています。とくに法人向け為替デリバティブ分野に関しては、この5年間で通貨オプションの取引残高が3倍に増加するなど、地域金融機関の中で上位の実績を挙げており、現在はその強みを生かして、複数の地域金融機関との間で、同分野での業務提携も進めています。

原材料・燃料などコモディティ価格の大きな変動は経営の不安定要因になりますが、とくにここ数年は原油価格の上昇を事業リスクと捉える事業者が増えています。当行が為替リスク軽減のためのヘッジソリューションをご提供したお客さまや上記提携金融機関のお客さまからも、原油価格などの変動リスクもあわせて回避したいというご要望もいただいております。当行ではお客さまのそのようなご要望にお応えすべく、このたび、コモディティデリバティブ業務を開始することにしました。

たとえば原油を対象にしたデリバティブの場合、原油価格の上昇にともない燃料費が増加する運輸業界において、価格転嫁が難しい、あるいは価格転嫁をするまでに時間がかかることなどが原因で利益が減少してしまうような法人の皆さまに、収益を安定させる(燃料費を固定化させる)ためのリスクヘッジ・ツールとして有効にご活用いただけます。



当行は、今後も、金利・為替・コモディティデリバティブなどのヘッジソリューションを有効に活用して、他の地域金融機関との業務提携をさらに進めていくと同時に、さまざまな事業リスクを回避したい全国の事業法人のお客さまに対して、ニーズに合ったソリューションをご提供してまいります。